



広島中央トピックス

西条柿味わって 技術継承 原産守る

JAひろしま広島中央原産西条柿生産出荷組合は10月中旬から11月中旬、特産の「原産西条柿」を出荷しました。猛暑の影響



▲西条柿を収穫する松川さん

で1週間色づきが遅れましたが、上々な仕上がりで、県内市場やJA産直市で販売した他、贈答用として全国に発送しました。

八本松町の松川克巳さんは、30aに約56本を植え、摘蕾・摘果を徹底して大玉に仕上げられています。松川さんは1997年に栽培を始め、干し柿の生産や同組合の組合長を務めるなどして組合をけん引してきました。しかし、周辺の急激な住宅化の影響や後継者がいないことで、今年の収穫後に柿園を閉じることになりました。松川さんは「栽培は辞めても組合のメンバーに技術を伝承していきたい」と話します。

鍋料理で特産PR だいわ元気まつり

三原市や大和町自治振興連合会、JAひろしまなどで行く「だいわ元気まつり実行委員会」は10月20日、大和町の大和支所周辺で「だいわ元気まつり」を開きました。

JA大和支店と大和アグリセンターは、「大和まるごと鍋」約600食を無料で振る舞いました。同町特産の白ネギやレンコン、ハクサイなどの野菜をたっぷり入れ、ハトムギみそで調味し、地元の特産物をPR。JA青壮年連盟大和支部も出店し、たこ



▲「大和まるごと鍋」を振る舞うJA職員

焼きや串焼きを販売しました。大和支店の田村幸範支店長は「毎年恒例の鍋を楽しみに来場する人も多い。地元の食材を多くの人に知ってもらいたい」と話しました。

大和町の農業を応援 小学生がレシビ開発

三原市立大和小学校5年生34人は、大和町の特産品「ハウレンソウ」を使ったレシビ開発に取り組んでいます。町の主力産業である農業を盛り上げ、特産品をアピールすることで地元を元気にするのが狙いです。

食農教育活動にはJA大和アグリセンターが協力。児童は9月中旬と10月中旬の2日間、地元農家を訪れ、食材や農業の知識を深めました。

同町で米や野菜を栽培する平野孝美さんの生産現場では、先進技術を使った農業を学びまし



▲ハウレンソウを栽培するハウスを見学する児童

た。グリーンカウベル大和農場では、ハウス21棟(60a)で栽培するハウレンソウを見学。農場長の坂田貴農さんが播種から収穫までの成長と管理について説明しました。高田勝彦さんの畑では、白ネギと大型ピーマンの栽培を学びました。

レモン見学 乃美尾小学校

東広島市立乃美尾小学校2年生9人は、黒瀬町でレモンを栽培している仁井内孝治さんの畑



▲レモンの木を見学する児童

を訪問し、レモンの栽培を見学しました。

仁井内さんがレモンの育て方を説明。児童は、葉を擦るとレモンの匂いがすることを教わり、実際に体験して喜びました。「なぜレモンはすっぱいのか」「なぜレモンを植えたのか」などの質問も飛び交いました。

仁井内さんは3年前に23aに146本を定植しました。県内でレモンの産地は、島しょ部や沿岸部などの温暖な地域がほとんどですが、県内産地では最北端の同町で、良質なレモンの生産を目指しています。



水稲

土づくり資材の施用について

これからは来年の作付けに向けて、準備期間となります。

◆土づくり資材の投入について

水稲は「ケイ酸植物」と言われ、健全な草勢を保つためには「ケイ酸分」の補給が必須となります。冬場に「ミネラルG」や「ケイカル」などの土づくり資材を投入することは、養分の補給だけでなく、根・葉・茎を丈夫にし、病害虫や倒伏、高温や低温に対する抵抗力を高める効果があります。また、含有される石灰質により、土壌酸度を矯正することで根腐れを防ぎます。さらに鉄分を補給することで、

生育初期に発生する「赤枯れ症」を軽減することができます。

また、「ミネラルG」の副次的効果として「稲こじ病」の発生を軽減することが確認されています。

水稲を一作するときに必要な「ケイ酸量」は100〜120kgと言われています。「窒素量」が10kg未満であることから、稲の生育に「ケイ酸分」が必須であることが良くわかります。稲わらやもみ殻にも多く含まれるため、気温の高いうちに耕起し、それらを還元することが必要となります。

また、用水などにも「ケイ酸分」天然供給量は60〜80kg程度含まれているため、不足分の40kgを土づくり資材で補給する必要があります。「ミネラルG」には17〜20%の「ケイ酸分」が含まれるため、毎年10a当たり200kg施用するのが望ましいです。とは言え、それだけの量を散布するのは大変な重労働です。JAでは委託散布を行っていますので最寄りのアグリセンターにご相談ください。

◆有機物の補給

昔は冬場の水田に「鶏糞」や「牛糞」などの有機物を投入し、肥沃な土壌

づくりをしていました。最近では散布に手間がかかることと、「水稲栽培ごよみ」ごおりの肥料を散布しておけば、ある程度収穫量が確保できることから、そのような有機物を散布する方が少なくなっています。篤農家に話しを伺うと「地力は一年や二年で改善されるようなものではないので、地力を落とさないよう、毎年有機物を入れていく」と言われています。

令和6年産の作況指数は、広島県で104でしたが、出来、不出来の差は大きいと感じています。圃場により地力に差が出ており、同じような圃場条件でも収穫量に差が出ています。

地力を落とさないためにも「鶏糞」や「牛糞」などの有機物を100kg程度でも施用することが望ましいです。有機物を投入することで「微生物」の活動が盛んになり、稲わらなどが分解して地力が高まります。

また、土づくり資材「アツミン」は有機物分解後の「腐食酸」を多く含んでいますので10a当たり20〜40kg施用するだけで堆肥を1t施用したのと同様の効果が期待できます。

るを選ぶようにしましょう。

◆定植

アスパラガスの収穫は、定植後2年目以降になります。したがって、植え付けの年は簡単な管理のみとなります。定植は遅霜の心配がなくなる5〜6月に行います。雑草対策としてマルチを張り、30〜35cm間隔に定植します。他の野菜と違い、根鉢が5cm程度埋まる深植えにし、定植完了後は水をしっかりと与え活着を促進します。

株が小さなうちは「ネキリムシ」の被害を受けやすいので「ガードベイトA」を株元に散布しておきましょう。

◆畝焼き

「アスパラガス」の重要な管理に畝焼き作業があります。冬場にバーナーで畝を焼くことで病害虫はもちろん雑草対策になります。茎葉が完全に枯れたら畝上から通路までバーナーで焼却します。その後は牛糞などの堆肥をマルチ代わりに敷き詰めましょう。

◆田の乾田化

冬場の田は、できるだけ乾かしておくとよいとされています。田が乾くと土に含まれる「窒素」が増加します。田を乾かすことで土中に空気が入って乾燥しやすくなり、微生物による「有機態窒素」が分解され、植物が吸収しやすい「無機態窒素」に変化します。これを「乾土効果」と言い、昔から「7回耕起は肥いらす」と言われてきました。実際にはそこまで耕起するのは難しいですが、稲刈り後は

- ①土づくり資材の投入
- ②耕起
- ③排水対策

を行なって乾田を保つようにしましょう。



ましよう。その時に灌水も忘れられないようにしてください。

管理で重要なことは、とにかく親株以外を収穫し続けることです。親株を立茎し、貯蔵養分を地下茎に蓄えるようになるまで30日かかります。したがって、若芽を放っておくと株が消耗するばかりになりますし、株が込み合うので病害虫の発生原因となります。

アスパラガスの親株は9月下旬になると徐々に黄色がかり、10月には枯れます。この時の茎に残された養分は、貯蔵根に転流されますので、秋遅くまで茎を枯らさないことがアスパラガス栽培に重要なことです。

野菜

アスパラガスの栽培について

12月になり、畑の仕事は一段落して来年の作付けを考える時期となっています。今のうちに畑の条件整備を行ないましょう。

春野菜の代表である「アスパラガス」。ポイントさえ押さえれば家庭でも気軽に栽培できます。また、栄養価の高い野菜で、採りたての新鮮なものも糖度も高くチャレンジしてみたいかがでしょうか。

アスパラガスは一度植え付けるとほぼ植え替えることがない品目です。最近では園芸店でも定植用の苗を販売しており、比較的容易に発芽するので種から始めてもよいでしょう。

非常に肥沃な土壌を好むので、畑づくりには1㎡当たり3〜5kg牛糞などの堆肥と「ミネラルG」等の石灰資材を20g程度施用し、土としっかり混和させます。また、湿害を嫌うので植え付けは必ず水はけの良いところ

◆立茎・病害虫対策

アスパラガスは前年に蓄積した養分を地下茎(鱗芽)に貯蔵し、若芽が発生します。この若芽を「アスパラガス」として食べるわけですが、若芽を採り続けると貯蔵養分が消耗してしまいます。

概ね、5月下旬から6月上旬にかけて、貯蔵養分を蓄積させるための作業を立茎といえます。立茎本数は1株当たり3本を目安とし、茎の径が1cm程度「太めのポールペン程度」のものを選ぶようにします。以降はその親茎が倒れないようにネットなどを張り、病害対策として「ダコニール1000」などを散布してください。

アスパラガスは茎が伸びるときに株が消耗します。立茎時は一時、若芽の発生が極端に落ちますがその後は発生を続けます。大きくならないうちに収穫を続けましょう。

◆肥料と管理について

アスパラガスほど肥料を要求する作物はありません。生育期間中は2週間に1回程度野菜用の追肥を施し



Information お知らせ

SNS+投資 or 結婚 = 詐欺! ?

広島県内では、SNS型詐欺の被害が今年10月末で

約32億円

発生しています。



▲ WARNING SNS型投資詐欺

- 著名人（実業者や経済学者等）の広告
 - SNS等グループトーク上での儲け話
 - 投資アプリの紹介
- 等は **要注意!!**



増加中

▲ WARNING SNS型ロマンス詐欺

- マッチングアプリやSNSへの突然のメッセージ
 - 投資への勧誘
- 等は **要注意!!**



必ず儲かるは詐欺です！ 一步踏み込む前に考えよう！

広島県警察東広島警察署

購買品年間供給履歴配布のお知らせ

購買品年間供給履歴のご提供を次のとおり行ないます。令和6年の農業申告添付資料として購買品の履歴が必要な方は、最寄りのアプリセンター窓口までお申し込みください。

【サービス開始日】 令和7年1月20日（月）

【履歴期間】

購入日基準 令和6年1月1日～令和6年12月31日

決済日基準 令和6年1月25日～令和6年12月25日

農機センター 休業のお知らせ

年末年始は次の期間中、休業させていただきます。休業期間中はご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

**令和6年12月26日（木）
～令和7年1月7日（火）**

東広島市
園芸センターより

志和アグリ図書館 出張サービスについて

毎月第2・第4火曜日に、園芸センター内にある志和アグリ図書館へ図書館員が出張して、図書館サービスを行なっています。

【サービス内容】

- ・志和アグリ図書館と東広島市立図書館の本の貸出と返却の受付。
- ・東広島市立図書館のカードの新規利用登録の手続き。
- ・読みたい本や探している本の検索や相談、予約の受付。
- ・調べものの相談とその本や資料、情報の紹介。

- ・農文協が発行した『現代農業』『農業技術大系』などの書籍や農作業に関する動画の写真が多数収録されたデジタルコンテンツ「ルーラル電子図書館」の閲覧。

【12月の出張日】

- ・12月10日（火）・24日（火）10：00～13：00
- ・その他、平日9：00～16：30は、館内の農業関係の本を自由に閲覧できます。

お問い合わせ

東広島市立中央図書館
Tel (082) 422-9449

